

オニクスグループに通信型スキャンツールを OEM 提供開始

株式会社エムログ（本社：東京都港区、代表取締役社長 大石 哲司）は、オニクスグループ（株式会社オートコミュニケーションズ：東京都世田谷区、代表取締役社長 鄭 敏）で 8 月から実施する『オニクスへ GO!GO!GO!フェア』の「OBD 点検サービス」で利用する通信型スキャンツールを、OEM 提供する事になりました。

『オニクスへ GO!GO!GO!フェア』とは、全国のオニクス加盟店で OBD 点検無料サービスを実施することで、一般のドライバーに車両の電子点検を周知させ、気軽に点検が受けられる環境を提供することで、今まで以上に環境配慮や安心・安全の提供を行うことを目的としたキャンペーンであり、その趣旨が、当社の基本理念と合致すると判断し、OEM 提供を決断した次第です。

今回、OEM 提供する事になった製品のベースは、当社の通信型スキャンツール「イーグルキャッチ」です。本製品は、通信型診断端末・KDDI のパケット通信網・センターサーバーから構成されており、端末に CDMA1X 通信モジュールを搭載、点検や消去を行うとデータは全て自動的にセンターサーバーへ蓄積され、顧客情報や車両情報と共にインターネット上で管理されます。

オニクスグループが、『オニクスへ GO!GO!GO!フェア』を展開するにあたり当社の通信型スキャンツールを採用した背景には、更なる顧客満足の向上という目的に加え、センターサーバー方式なので本部サイドで点検情報や車両情報の一元管理が可能、機器の扱いに不慣れな営業員であっても操作が簡単で且つ点検に時間がかからない、つまり整備ツールではなくマーケティングツールとしての利用に最適であるという理由があります。また、オニクスグループは本サービスの実施にあたり、a 仮にエラーコードが出現して整備しなければならない事情が生じた場合でも、地域の他の事業者との業務連携・情報連携・システム連携を通して問題解決を図る = 地域の OBD 点検ステーションとして情報ハブの立ち位置の確保を目指す、b この仕組みを拡大・拡充することで、直近では、販売する全ての車両に「OBD 故障コード確認済み」の付加価値を賦与、将来的には、共有在庫情報を簡単に集約出来る機能や、現在実施している「オニクス 110 項目点検シート」とのシステム連携を行う、等としており、当社は今後その点での開発協力も積極的に行っていく予定です。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社エムログ

担当：清 雅人（すみ まさと）

TEL:03-5419-7361 FAX:03-5419-7362

平成 23 年 7 月 19 日
株式会社エムログ
代表取締役社長 大石 哲司

【参考】

OBD とは・・・

車載式故障診断システム (OBD システム) は、車両自身が排出ガス対策装置の異常 (突発的故障) を検知・監視し、異常発生時に警報表示して運転者に知らせるとともに、その故障内容を記憶保持する装置です。

現在の新車には、各種センサ等について電気回路の断線を検知する簡易な OBD システムの装着が義務付けられているところですが、平成 17 年から世界で最も厳しい自動車の排出ガス規制 (新長期規制) が開始されることとなり、排出ガス低減技術はさらに高度精密化することから、排出ガス低減性能を良好に保つために、各種センサ情報から車両の排出ガスレベルを診断するような高度な OBD システムを装着し、故障を確実にかつ早期に検出し、改善することが必要となってきます。

また OBD から故障内容を読み取る為のスキヤンツールは、迅速に故障を特定し、確実に修理をすることも目的として、自動車整備業での利用が主ですが、近年、故障が無い事を証明する為の手段として、钣金塗装業界や中古車販売業界でも注目をされています。

- ・ **2008年10月以降に発売される国産新型車及び2010年9月以降に発売される全ての新車(輸入車を含む)に対して、OBD - IIに相当する規制*が実施**



文章/図出所 国土交通省「高度な車載式診断装置について」より抜粋

「イーグルキャッチ」とは・・・

「イーグルキャッチ」は業界初、無線通信網とセンターサーバーを搭載した自動車用スキヤンツールです。

【イーグルキャッチの仕組み】

